

編集後記

『戦史研究年報』第六号をお届けいたします。

今年度、防衛研究所はその前身である保安研修所が設置されてから五十周年を迎え、本号は「防研創立五十周年記念特別号」として編集いたしました。

巻頭には「防衛研究所創立五十周年記念に寄せて」と題して、戦史部・戦史研究の役割・使命やその動向、今後の発展方向などを主体とする内容につき、現在及び先代の防衛研究所長を始め、韓国軍史編纂研究所長、英国、米国及び日本の軍事史学会長、防衛研究所戦史部長など、戦史・軍事史研究の機関・学界を代表する方々から寄稿いただきました。戦史部或いは戦史・軍事史研究などに対する各々の思い入れとも言えるべき極めて示唆に富む内容であり、特別号に相応しい記事と自負しております。

「論文」については、戦史部員の研究成果の中から五篇、「研究会記録」としてロンドン大学フィリップ・セイビン教授及びローム大学バルド・フェレットイ助教による研究会記録の二篇、さらに戦史部長・戦史部員による「国際会議参加論文」の中から三篇を掲載し、特別号としてその数を従来号より多くするとともに内容的に特徴的なものを取り上げました。特に山村論文、戒能論文、谷村論文は、これまで研究されることの少なかったテーマ

であります。又その他の論文につきましても、関心の高いテーマや史実解明に挑戦的なテーマ、考察を重視した含蓄の深いテーマなど、読者にとつて興味深いものを集めました。

その他にも、「史料紹介」については、五十周年記念として、保管史料の中でも特徴的でエポックメイキングな史料を十編選定し、今回初めて写真主体で紹介させていただきました。これらは歴史上の重大な出来事を象徴的に示している貴重な史料であります。

なお、記事中の英語文は、初の試みとしてあえて翻訳することなく掲載いたしました。ここであらためて読者諸賢の御了解をいただきました。

以上が第六号の特色の概要ですが、経費制約の中で五十周年記念特別号として相応しい編集に努めさせていただきました。

防衛研究所創立五十周年という節目に当たり、我々戦史部員も、これまでの成果に安住することなく、その任務たる調査研究・編さんの一層の充実に今後とも鋭意努力していきたいと考えます。

最後に、本特別号に寄稿していただいた方々を始めとする関係各位の御協力に厚く御礼申し上げますとともに、防衛研究所の益々の発展を祈念して「編集後記」といたします。

(増子 講一、吉岡 信夫)

編集委員

林 吉永 (委員長)
白石博司 塚本隆彦
上岡克彦 山村 健 庄司潤一郎

編集スタッフ

増子講一 伊藤信之 屋代宣昭 大場一石 荒川憲一
横山久幸 戒能善春 高橋文雄 中島信吾 吉岡信夫

戦史研究年報 第六号 (防研創立五十周年記念特別号)

平成十五年三月三十一日発行

編集 防衛研究所戦史部

発行 防衛研究所

〒153-8648 東京都目黒区中目黒二-1-1
電話 〇三-五七二-七〇〇五 (代表)